

【西区】令和８年第３回区づくり推進横浜市議員会議

令和８年９月３日(木) 15時30分開始
西区役所３Ｂ会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 令和７年度 個性ある区づくり推進費決算状況

(2) 令和８年度 西区主要事業の進捗状況について

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

エ 子育て支援の推進

オ 地域連携推進・回遊性向上事業

カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

キ スポーツ振興事業

ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業

ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

コ 地域防災活動推進事業

サ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(3) 令和９年度 西区予算編成の基本的な考え方

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3 -(1) 令和7年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

(単位:円)					
区 分	予 算 額	予算現額	決 算 額	差 引	執 行 率
自 主 企 画 事 業 費	100,598,000	100,598,000	96,766,764	3,831,236	96.2%
統 合 事 務 事 業 費	35,356,000	35,356,000	33,065,729	2,290,271	93.5%
区庁舎・区民利用施設管理費	485,088,000	494,927,000	498,369,214	△ 3,442,214	100.7%
合 計	621,042,000	630,881,000	628,201,707	2,679,293	99.6%

2 重点事業（自主企画事業費）

1 地域のつながりづくり 11,371,417円		
主 な 事 業	事 業 内 容	事 業 実 績
「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 （西区地域福祉保健計画）の推進	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン（西区地域福祉保健計画）」第4期計画の推進、普及啓発、及び第5期計画の策定	・第5期策定に向けた区民意見募集（10～11月） ・地区懇談会の開催（各地区5～12月） ・推進評価委員会等の開催（7・9・1月） ・区民まつりでのブース出店（11月） ・にこまちフォーラムの開催（2月）
2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり 17,442,134円		
主 な 事 業	事 業 内 容	事 業 実 績
西区子育て支援事業	休日プレパパママクラス、赤ちゃん教室等の子どもと保護者向けの講座や中学校いのちの教室の開催、子育てガイドによる情報発信	・休日プレパパママクラス（12回、155組参加） ・赤ちゃん教室（90回、752組参加） ・中学校いのちの教室（全5校） ・3歳児健診対象者向け個別相談（15回、82組参加）
高齢者あんしん生活サポート事業	地域ケア会議の充実、脳の健康度チェックや認知症サポーター養成講座の開催による認知症理解の促進、講演会の開催やころばんよ体操、お元気活動応援マップの配布等による介護予防普及啓発	・区レベル地域ケア会議開催（3月11日） ・脳の健康度チェックの実施（通年） ・介護予防講演会（5月 150名参加） ・地域における介護予防リーダーの育成、普及啓発の実施
3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり 30,718,301円		
主 な 事 業	事 業 内 容	事 業 実 績
地域連携推進・回遊性向上事業	地域資源を活用した回遊性向上やSDGsの啓発、地域活動支援等により、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出を推進	・花苗等の配布（延べ59か所）、美化・環境向上の活動支援、案内サイン盤面更新（5か所） ・にしくSDGsチャレンジ-ビンゴを目指せ！脱炭素-（375名参加） ・西区地域づくり大学校修了生補助金交付（6件）
商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	商店街及を巡るスタンプラリーの実施、商店街フォトコンテストの実施	・商店街を巡るスタンプラリーの実施（応募件数2,170件） ・商店街の魅力を市民目線で発掘・発信してもらう機会としてフォトコンテストの実施（応募作品数215点）
4 安全・安心なまちづくり 29,023,568円		
主 な 事 業	事 業 内 容	事 業 実 績
地域防災活動推進事業	地域防災拠点の機能強化、感染症対策を含めた区本部の防災機能強化、自助・共助の推進	・西区崖地相談会の実施（計12組） ・木造住宅密集地域における減災対策の推進（感震ブレーカーの補助（116個）等） ・河川水位情報伝達システムのシステム再構築 ・西区防災フェアの開催（約3,400名来場）
西区 みんなでエコアクション！推進事業	環境行動推進功労者表彰式の開催、店頭啓発・環境学習の実施、地域の清掃活動支援	・環境行動推進功労者の表彰（個人11名団体3） ・店頭啓発の実施（6回） ・環境学習の実施（7回） ・地域へ清掃用具配付（8月）
5 親しみやすい区役所づくり 8,211,344円		
主 な 事 業	事 業 内 容	事 業 実 績
サービ ス 改善推進事業	職員への窓口応対向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供	・窓口発券システム導入による来庁者の利便性の向上 ・西区・保土ケ谷区合同人権啓発講演会実施 ・導入済みのデジタル機器等の維持管理
区庁舎・区民利用施設環境整備事業	快適に利用できる区庁舎を目指し、窓口環境の改善及び窓口サービスの向上を実施	・空調設備等の改修、授乳スペースやデスクライトの設置等による窓口環境等の改善
合 計 （自主企画事業費決算額）		
	96,766,764円	

令和7年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	地域活動事業	2,708,000	2,689,118	18,882	99.30%
2	西区「学び・つながり」支援事業	1,577,000	1,537,856	39,144	97.52%
3	西区ふれあい福祉推進事業	2,924,000	2,785,819	138,181	95.27%
4	「にこやか しあわせ ぐらしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	4,396,000	4,358,624	37,376	99.15%
小計		11,605,000	11,371,417	233,583	97.99%

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	読書活動推進事業	1,569,000	1,552,814	16,186	98.97%
2	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,575,000	1,398,775	176,225	88.81%
3	西区子育て支援事業	4,532,000	4,024,509	507,491	88.80%
4	西区の保育施設つながり事業	700,000	680,845	19,155	97.26%
5	健康づくり応援事業	2,672,000	2,648,391	23,609	99.12%
6	高齢者あんしん生活サポート事業	2,864,000	2,789,226	74,774	97.39%
7	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,354,000	4,347,574	6,426	99.85%
小計		18,266,000	17,442,134	823,866	95.49%

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	広報充実事業	2,318,000	1,019,808	1,298,192	44.00%
2	地域連携推進・回遊性向上事業	7,146,000	6,971,919	174,081	97.56%
3	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,910,000	2,497,726	412,274	85.83%
4	藤と季節の花がつながるまちづくり事業	5,000,000	4,701,142	298,858	94.02%
5	西区民まつり	6,007,000	6,007,000	0	100.00%
6	ふるさと西区魅力発信事業	5,162,000	5,002,843	159,157	96.92%
7	地域文化振興事業	500,000	500,000	0	100.00%
8	スポーツ振興事業	4,339,000	4,017,863	321,137	92.60%
小計		33,382,000	30,718,301	2,663,699	92.02%

4 安全・安心なまちづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	西区 みんなでエコアクション！推進事業	3,851,000	3,841,034	9,966	99.74%
2	交通安全事業	2,895,000	2,894,934	66	100.00%
3	地域防災活動推進事業	20,285,000	20,741,351	▲ 456,351	102.25%
4	安心して暮らせるまちづくり推進事業	600,000	562,510	37,490	93.75%
5	食中毒・感染症予防対策事業	1,340,000	983,739	356,261	73.41%
小計		28,971,000	29,023,568	▲ 52,568	100.18%

5 親しみやすい区役所づくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	区庁舎・区民利用施設環境整備事業	5,597,000	4,835,369	761,631	86.39%
2	サービス改善推進事業	2,777,000	3,375,975	▲ 598,975	121.57%
小計		8,374,000	8,211,344	162,656	98.06%

(単位：円)					
総合計		100,598,000	96,766,764	3,831,236	96.19%

主な増減理由（差引額±10万円以上かつ執行率が±20%以上の事業）					
※1 広報充実事業					
・区民生活マップについて印刷数を見直したことによる印刷費の減					
・ネット掲載等、別手法によるイベント広報をしたことによる役務費の残					
※2 食中毒・感染症予防対策事業					
・講習会講師を職員が行ったことによる報償費の残					
※3 サービス改善推進事業					
・窓口発券システム導入による増					

令和7年度 個性ある区づくり推進費（統合事務事業費・区庁舎・区民利用施設管理費）
施策体系別決算額

1 統合事務事業費

（単位：円）

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	統合事務費	20,176,000	18,063,363	2,112,637	89.53% ※1
2	広報よこはま西区版発行・区民相談事業	9,587,000	9,529,028	57,972	99.40%
3	クリーンタウン横浜事業	594,000	565,812	28,188	95.25%
4	緊急時情報システム運用事業	604,000	512,972	91,028	84.93%
5	スポーツ推進委員事業	2,305,000	2,304,554	446	99.98%
6	青少年指導員事業	1,195,000	1,195,000	0	100.00%
7	学校・家庭・地域連携事業	720,000	720,000	0	100.00%
8	健康づくり月間事業	175,000	175,000	0	100.00%
小計		35,356,000	33,065,729	2,290,271	93.52%

2 区庁舎・区民利用施設管理費

（単位：円）

番号	事業名	予算額	現計予算額	決算額	差引	執行率
1	区庁舎管理費	97,654,000	97,654,000	101,361,013	▲ 3,707,013	103.80% ※2
	区庁舎	58,607,000	58,607,000	60,283,568	▲ 1,676,568	102.86%
	土木事務所	9,779,000	9,779,000	10,680,685	▲ 901,685	109.22%
	行政サービスコーナー	7,020,000	7,020,000	7,497,080	▲ 477,080	106.80%
	区民活動支援センター	20,534,000	20,534,000	20,534,912	▲ 912	100.00%
	区庁舎修繕費	1,714,000	1,714,000	2,364,768	▲ 650,768	137.97%
2	区民利用施設管理費	387,434,000	397,273,000	397,008,201	264,799	99.93%
	コミュニティハウス（学校施設活用型）	38,037,000	38,037,000	38,535,200	▲ 498,200	101.31%
	コミュニティハウス（条例型）	39,212,000	40,252,000	40,239,285	12,715	99.97%
	老人福祉センター	58,899,000	60,353,000	60,338,383	14,617	99.98%
	ログハウス	9,446,000	9,446,000	8,532,000	914,000	90.32%
	集会所	11,509,000	11,850,000	11,849,599	401	100.00%
	地区センター	87,942,000	90,441,000	90,418,168	22,832	99.97%
	公会堂	38,471,000	39,711,000	39,701,550	9,450	99.98%
	スポーツセンター	102,912,000	106,177,000	107,152,416	▲ 975,416	100.92%
	広場・遊び場	236,000	236,000	241,600	▲ 5,600	102.37%
	区民利用施設小破修繕	770,000	770,000	0	770,000	0.00% ※3
小計		485,088,000	494,927,000	498,369,214	▲ 3,442,214	100.70%

主な増減理由（差引額±10万円以上かつ執行率が±20%以上の事業）

※1 統合事務費

・郵便料の減

※2 区庁舎管理費

・空調使用に伴う経費及び物価高騰のための増

・修繕必要箇所への対応による増

※3 区民利用施設管理費（区民利用施設小破修繕）

・施設運営費、局予算、長寿命化予算で実施による減

3-(2) 令和8年度 西区主要事業の進捗状況

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 2,844千円(対前年度比 1,552千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、区役所全体で取り組むとともに、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を高めることを目指しています。

令和8年度は、第5期計画(令和8～12年度)がスタートします。計画策定で育まれたつながりや機運を活かし、5年後に目指す姿を見据え、地域や関係機関と一体となって、計画を力強く推進します。また、第5期にこまちプランを区民の皆様に広く知っていただくため、積極的な情報発信・プロモーションを行い、認知度向上を図ります。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(2,844千円)【拡充】

① 「第5期にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)」 の推進

「区全体計画」については、引き続き区役所一丸となってプロジェクトチームを編成し、課横断的な課題にもチームで取り組みます。また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(令和8年10月2日実施予定)での意見等を踏まえ推進していきます。

「地区別計画」についても、みなとみらい地区を含め全7地区でスタートを切り、各地区においてそれぞれ推進しています。地域における様々な課題の解決に向けて、必要に応じて地域での話し合いの場の設定支援なども行いながら、引き続き、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが連携し、地域の取組を支援していきます。

■参考：第29回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会
【開催日】令和8年1月16日
【会場】西区役所3階A B会議室
【内容】第5期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)
区全体計画の確定(意見交換) 等



推進評価委員会



第3地区 地区懇談会の様子
(令和8年7月14日)

② 「第5期にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）」 の広報・啓発

広報よこはまの特集やオリジナルノートなどの啓発ノベルティの配布に加え、スタートの勢いを加速させるため、新規PR動画を制作し、積極的に発信して「にこまちプラン」の認知度を高めます。外国語を母語とする方にも知っていただくため、英語・中国語及び韓国語の「にこまちプラン」概要版をウェブサイトに掲載しました。

また、「にこまちプラン」の普及啓発、地域活動の情報共有などを目的として「にこまちフォーラム」を開催し、地区別計画やこどもたちの取組発表などを通じて活動の充実につなげます。このほか、地域活動のヒントとなる実践的な題材を取り入れ、担い手の意欲を高める「にこまち講座」（12月実施予定）を開催します。

加えて、小・中学校への出前講座（※）を実施するなど、引き続き「こども向け啓発」を進め、こどもたちやその親世代（現役世代）の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。

※出前講座の実施状況（令和8年7月末時点）

戸部小学校	5月8日
西前小学校	5月26日
宮谷小学校	6月1日
一本松小学校	6月5日
平沼小学校	7月1日

■参考：令和8年度「にこまちフォーラム」（予定）

【開催日】令和9年2月20日（土）

【会場】西公会堂

【内容】○各分野の取組報告

○プロモーション動画発表

○こどもたちの取組発表 等



令和7年度「にこまちフォーラム」



こども向け啓発（小学校出前講座）



英語版「にこまちプラン」概要版

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,923千円(対前年度比 59千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(991千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツール等を活用した広報により、関心が希薄な方々へPRしていきます。(11月～)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(1,054千円)

① 軽度認知障害(MCI)・認知症の理解、早期対応の機会づくりの促進

認知症の理解と早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳の健康チェックができる機会をつくるとともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等の支援につなげます(通年)。

軽度認知障害と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します。(通年) また、軽度認知障害や認知症初期と診断された方の診断後支援の一環として、重症化予防に効果がある運動に取り組める機会づくりを行うとともに(6月～)、運動に関する動画を作成し(9月)、診断された方の支援に活かします。

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施(健康福祉局 区配事業含む)

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

また、認知症キャラバン・メイト(登録者数196名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(第1回7月1日参加者18名、第2回2月予定)

(3) 健康づくり・介護予防事業(878千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防普及啓発の実施

(健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、フレイル予防と認知症予防のための運動(筋力トレーニング)をテーマとし、総合能力研究所の健康運動指導士による講演会を開催しました。(6月12日 参加者89名)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数21名)や地域の通いの場の参加者等を対象としたスキルアップ研修を開催(10月、11月全4回コース)し、地域におけるフレイル予防活動の充実を図ります。



令和8年度介護予防講演会の様子

■令和8年度 介護予防講演会

「あなたの未来を変える 脳と身体の本山式筋トレ講座」

【講師】総合能力研究所所長 本山 輝幸 氏

【開催日】令和8年6月12日(金) 西公会堂 1号会議室

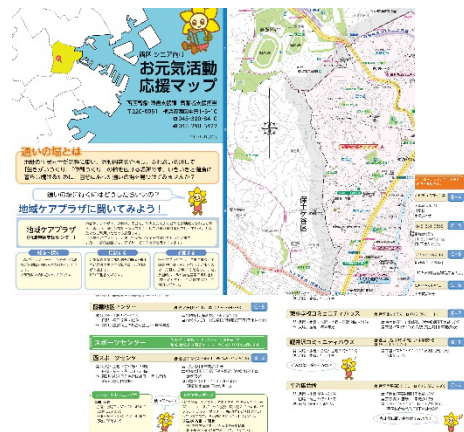
【対象者】西区在住・在勤の方 【参加者】89名

※アンケート回答 初めて講演会に参加した人 40人

日常生活に工夫を取り入れたいと答えた人 63人

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを配布し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「西区お元気活動応援マップ」

西区内の介護予防に関する取組の紹介

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額4,543千円(対前年度比 189千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択や居住確保に向けた支援をしながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,457千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

地域防災拠点訓練等の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等について、ミニ講座などで啓発していきます。(3か所程度)

■参考：令和8年度地域防災拠点訓練等での障害啓発(予定)

【実施日・場所】9月6日(日) 老松中学校



令和7年度地域防災拠点訓練

② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示・製品の配布(1月15日～1月23日神奈川大学・アニミ)や事業所製品の販売(11月29日ウォーキングフェスティバル)を、区内障害者施設等と連携して行います。

障害者地域活動支援センターが障害者と地域住民等との日常的なふれあいの場となるよう相互に協力するとともに、適正な運営支援を行います。(通年)

地域活動ホーム等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とがつながりをもてるイベントやPRを実施していきます。(3月22日生活創造空間にし)



令和7年度西区ふれあい作品展
(神奈川大学みなとみらいキャンパス
エントランスホール)

■参考：令和7年度西区ふれあい作品展

【実施日】令和8年1月9日(金)～1月15日(木)

【場所】神奈川大学みなとみらいキャンパス・café アニミ

■参考：令和7年度西区防災フェスタ

【実施日】令和8年3月20日(金・祝)

【場所】生活創造空間にし 【来場者】約200名



令和7年度西区防災フェスタ

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」等を活用し、あらゆる機会をとらえてPRを進めます。(通年)



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(517千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 地域防災拠点(指定避難所)への対応

電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、令和5年度から地域防災拠点に発電機を配付して医療用充電ステーションとして整備しています。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付しており、令和8年度末には12拠点への配付を完了する予定です。



医療用充電ステーション用発電機

■参考：令和8年度医療用充電ステーション用発電機配布予定拠点
東小学校、岡野中学校、西中学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(569千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「にしナビ」

(令和5年度作成)を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を改訂し障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

エ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区子育て支援事業、地域の力を生かしたスクールサポート事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 7,004千円(対前年度比 197千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心してこどもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながらこどもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区子育て支援事業(4,714千円)【拡充】

① プレパパママクラス

妊娠7～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を区役所及び地域子育て支援拠点で開催します。参加ニーズの高い、沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座や夫婦間のコミュニケーションに関する講義は、引き続き休日にも開催します。(区役所：年6回、地域子育て支援拠点スマイル・ポート(委託)：年6回)

※5月9日(土)実施：12組参加(会場：スマイル・ポート)

5月23日(土)実施：20組参加(会場：区役所)

6月27日(土)台風のため中止(会場：スマイル・ポート)

7月25日(土)実施：21組参加(会場：区役所)

8月29日(土)実施：11組参加(会場：スマイル・ポート)



プレパパママクラス

② パパクラス～プレパパとほやほやパパの会～

生後1～4か月未満の第一子と父親、妊娠7か月以降の初産婦のパートナーを対象に、こどもの成長発達や母親の産前産後の心身の変化について学び、父親同士の交流を行う「パパクラス」を、育休中の父親が参加しやすいよう、通年で昨年度から回数を増やして開催します。(年4回)

プレパパママクラスやパパクラスにより、親になる前後の支援を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒にこどもを育てることの大切さを学ぶ機会としていきます。

※5月27日(水)実施：5組参加

8月22日(土)実施：6組参加



パパクラス

③ これで抱っこがしたくなる！「ぎゅっトレ」

母子訪問や乳幼児健診などで、安全な抱っこの仕方や赤ちゃんとの外出の仕方が分からず、子育てに不安を感じているという相談が増えています。そのため、生後1～5か月未満の第一子とその家族を対象に、安全な抱っこの方法や抱っこ紐の使い方を学ぶ講座を開催します。(年6回)

講座では、乳幼児期に利用しやすい外出先などの情報提供も行い、教室終了後に親子で地域子育て支援拠点や子育てサロン等を訪れることができるよう支援します。また、子育て支援を行う機関等の紹介を行うことにより、子育てで困ったときに気軽に相談できる場所や人が身近

に存在することを知ってもらい、不安や孤立感の軽減・解消につながります。

※4月3日（金）実施：5組参加

7月3日（金）実施：4組参加

8月21日（金）実施：4組参加

④ 赤ちゃん教室

0歳児とその家族や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します（年10回×9会場）。

様々なプログラム（歯みがき、離乳食、親子遊び、こどもの救急蘇生法と事故予防、防災）により、初めての子育てをサポートします。

※4～7月実績：30回実施 221組参加



赤ちゃん教室

⑤ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校（全5校）の中学生を対象に、専門職による性教育等を通じ、性に関する正確な知識と情報を提供するとともに、「命の大切さ」を伝えることを目的として、「中学校いのちの教室」を実施します。教室では、地域の子育て世帯との交流や妊婦体験などを取り入れ、中学生が「自分も大切な存在である」と実感し、今後の人生において主体的に意思決定する力を育むことを目指します。

実施にあたっては、地域子育て支援拠点に事業を委託するとともに、主任児童委員、PTA等の協力を得ながら、地域の子育てサロン等を通じて中学生と子育て世帯との交流機会を創出します。中学生が、世代間交流を通じて多様な価値観に触れ、社会性を身につけるとともに、地域への愛着を深め、将来的な社会参加への意欲を高める機会としていきます。

⑥ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧の作成により子育て情報の発信・提供などを行います。

また、「パマトコ」等を通じて、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう取り組んでいます。



表紙



中面（抜粋）

子育てガイド（西区子育て航海図）

(2) 地域の力を生かしたスクールサポート事業(1,590千円)【拡充】

こどもたちの安全で健やかな日常の確保を目的として、小・中学生を対象に危機管理教室を実施するとともに、新小学1年生に防犯ブザーを配布します。危機管理教室では、SNSでのトラブル防止や低学年向けの連れ去り防止のプログラムに加え、こども同士の関わりの中で生じるトラブルへの対処法を学ぶプログラムを新たに導入します。



危機管理教室
(連れ去り防止
プログラム)

さらに、安全・安心で生き生きと過ごせる放課後の居場所の推進に向け、放課後キッズクラブや放課後児童クラブの職員を対象とした人材育成研修を実施します。

※危機管理教室：5～11月に希望する小・中学校で実施予定
(5～7月実績)：小学校7校と中学校2校で開催

児童・生徒受講者数 約2,400人

※人材育成研修：10～12月に区役所で開催予定



人材育成研修

(3) 西区の保育施設つながり事業(700千円)

区内の子育て関連施設が連携して、各地区に出向き、育児講座を開催します。また、保育の質の更なる向上に向け、保育施設を対象とした研修を実施します。

さらに、西区唯一の市立保育所である南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。

※出前合同育児講座（年間：7地区、10回 開催予定）

5～8月末：5地区5会場で開催 参加：52組、104名

※保育の質向上に向けた研修 7月3日開催

講師 臨床心理士・公認心理師

内容 保護者対応について、事例を交えながら保護者のこころを理解し、援助者としての寄り添い方、施設としての対応方法を学んだ。(参加者数：32名)



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

オ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 8,827千円(対前年度比 1,681千円増)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、地域資源を活用した区内の回遊性向上を図るとともに、GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエクスポ）の開催や環境に配慮したライフスタイル等の機運を醸成します。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援するとともに、身近な地域課題の解決に取り組めます。

(1) 地域資源を活用した回遊性向上・まちづくり推進事業(4,795千円)【拡充】

にしく緑花サポーター制度の推進や、横浜グリーンエクスポの機運醸成、横浜駅の美化・環境向上の推進、「温故知新のみち」を活用した区内の魅力資源の周知・発信及び都市計画マスタープラン西区プランの改定作業を進めます。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」登録団体等への花苗等の配布を通じて、花と緑のまちづくりを推進します。

また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し区内の回遊性を高めるほか、脱炭素化の取組を加速化させていくためにも、横浜グリーンエクスポの開催に向けて区の来場意欲の醸成を図ります。

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】32か所(令和8年8月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所
公共施設等：16か所



EXPO の PR (5 月 COUNTDOWNFES VOL.2)



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② 横浜駅西口周辺での公民連携による美化・環境向上の推進

横浜グリーンエクスポに向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺において、美化・環境向上に取り組めます。地域と事業者及び行政の協働で行っている「きれいなまちづくり検討会(※1)」が、より具体的な取組ができるよう必要な経費を支援します。

(※1)「きれいなまちづくり検討会」構成員：南幸自治会、横浜駅西口商店会連合会、南幸安全安心まちづくり協議会、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、資源循環局、都市整備局、西区

③ まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」(全3ルート)等、区内の魅力資源を周知・発信し、回遊性向上を図ります。「温故知新のみち」のスポットをめぐる、よこはまウォーキングポイントアプリを活用したデジタルスタンプラリーを実施します。(11月頃)



「温故知新のみち」散策マップ 総合案内サイン

④ 都市計画マスタープラン西区プランの改定

区ごとに作成している区プランの改定作業を、令和10年度策定を目標に進めます。都市整備局が8月に改定の方向性を示すパネル展を実施し、併せて市民アンケートを行いました。

■参考：市民アンケート（パネル展）

【実施期間】7月27日～8月31日（西区庁舎でのパネル展：8月3日～8月21日）

■参考：改定に向けた今後のスケジュール（予定）

区民まつり等でのアンケート・地域ヒアリング（10月以降）、素案公表（9年度）

(2) 西区環境行動推進事業(3,070千円)【拡充】

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 環境行動推進の取組

環境配慮やSDGs達成に向けた参加型取組「にしくSDGsチャレンジ～クイズde挑戦！地球を救う30のミッション～」(7～11月)等を実施します。SDGsのクイズや、関連する短い動画の視聴を通し、脱炭素行動の啓発を図ります。

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します(1～3月)。



にしくSDGsチャレンジ
リーフレット（表紙・クイズ面）

(3) 地域連携交流事業(962千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域活動の支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、地域と行政間のコミュニケーション手段として、デジタルツールの試行的な活用を継続します。引き続き、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 地域活動の魅力を発信する動画制作

地域活動への理解と参加者の増加を目的に、横浜デザイン学院と連携し、西区内の地域活動紹介動画を制作します。

【参考】スケジュール：撮影（5～7月）、編集・校正（7～11月）、完成（12月）、SNS等で広報（2月以降）

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するために、まちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 地域と行政の情報共有プラットフォームの試行

主に自治会町内会と西区でデジタルツール(LINEWORKS等のアプリ)を活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。

④ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGs推進など新たな展開につながるよう、具体的な取組について協議を進めます。

■参考：神奈川大学との連携例（令和8年度）

① 神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト(5月～12月)

② 小学生が考えた地産地消メニューを神奈川大学内のレストランVOYAGEで販売（1月～2月予定）



[左] 神奈川大学内レストランVOYAGE

[右] 小学校考案地産地消メニュー（栄区事例）

■参考：横浜グリーンエキスポに向けた機運醸成の取組

街なかやイベントなど、様々な場面で横浜グリーンエキスポをPRし、2027年3月の開幕に向けて機運を醸成しています。また、地域の夏まつり等のイベントでうちわを配布し、区内全体での盛り上げを図っています。

（１）クリーンアート（西土木事務所）

野毛山動物園と連携し、6月22日（月）野毛山公園の壁面にクリーンアート※を実施しました。今後、区内の小学校やハマロード・サポーター等と連携し、様々な場所に展開します。
※壁の汚れを落として描く、環境にやさしいアートです。



（２）第60回西区虫の音を聞く会でのPR（区政推進課）

8月22日（土）、掃部山公園で開催された「第60回西区虫の音を聞く会」でエアバナーによる装飾、うちわの配布等を行いました。



（３）第17回みなとみらい大盆踊りでのPR（区政推進課、脱炭素・GREEN×EXPO推進局）

8月28日（金）、29日（土）、臨港パークで開催された「第17回みなとみらい大盆踊り」にてPRを行いました。トウナウトウクのランタンやエアバナーによる装飾、サンバイザーの配布のほか、29日（土）にはトウナウトウクも登場しました。



カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 2,815千円(対前年度比 95千円減)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,145千円)

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、商店街への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

■令和8年度開催概要

事業名：西区商店街スタンプラリー

開催期間：10月1日(木)～11月30日(月)

対象店舗数：10商店会124店舗



スタンプラリー冊子(令和7年度)



デジタルスタンプラリー

専用アプリ不要。二次元コードから
スタンプを獲得すると、応募可能。

(2) 西区情報発信事業(670千円)

区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、フォトイベントを開催します。商店街にまつわる写真を募集し、撮影のために商店街を訪れる機会を増やすことで商店街の活性化を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。また、昨年度入賞作品のパネル展示を区役所(区民ホール)で実施しました(4月)。

■令和8年度実施概要

事業名：西区商店街フォトコンテスト

募集期間：8月1日(土)～11月30日(月)

※商店街スタンプラリーの実施期間と重ねることで、フォトコンテストに参加いただきつつ、お買い物や食事
も楽しんでいただきます。

募集テーマ：あなたの一枚で届ける、西区商店街の魅力

応募資格：西区商店街に愛着のある方なら誰でも



西区商店街フォトコンテストチラシ

【予算額 4,339千円(前年度同額)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

また、インクルーシブスポーツ理解促進のための体験会の開催やウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと連携し、「区民DAY」の開催や小中学校等への出前授業を実施することで、区民へのプロスポーツを体験する機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

① 区民DAYの開催

■今後開催予定

【横浜ビー・コルセアーズ (バスケットボール)】

開催日：12月4日 (金)

場 所：横浜BUNTAI

対象者：西区内在住・在勤・在学の方100名様 優待

【横浜F・マリノス (サッカー)】

開催日：12月13日 (日)

場 所：日産スタジアム

対象者：西区在住の方100組200名様 招待

【横浜エクセレンス (バスケットボール)】

開催日：令和9年2月5日 (金)・6日 (土)

場 所：横浜武道館

対象者：調整中

【横浜FC (サッカー)】

開催日：令和9年2月27日 (土) もしくは28日 (日)

場 所：ニッパツ三ツ沢球技場

対象者：調整中

② 出前授業の実施

【横浜ビー・コルセアーズ】

・11月18日 (水) 東小学校 (バスケットボール教室)

【横浜エクセレンス】

・12月21日 (月) 一本松小学校 (バスケットボール教室)



©B-CORSAIRS

5/2 西区応援 DAY
(横浜ビー・コルセアーズ)



©B-CORSAIRS

出前授業の実施 (東小学校)
(横浜ビー・コルセアーズ)
(令和7年度)

(2) インクルーシブスポーツの推進 (1,184千円)

インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

開催日：令和8年11月1日（日）

開催場所：西前小学校体育館

■参考：令和7年度実績

【開催日】令和7年11月2日 西前小学校体育館

【参加者数】1,132人（延べ人数）

（種目別参加者数）バグギー：440人

風船バレー：392人

車いすバスケットボール体験：142人

展示コーナー：158人

【協力団体】横浜市スポーツ協会、神奈川VANGUARDS、
さわやかスポーツ普及委員、西区スポーツ協会、
ラポール上大岡、横浜市パラスポーツ指導者協
議会（バセル）、横浜市スポーツボランティア
センター、学校法人岩崎学園



車いすバスケットボール体験の様子
（令和7年度）

(3) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の主催により、第20回目のウォーキングフェスティバルを実施します。

開催日：令和8年11月29日（日）

コース：くまなく歩いて一万歩コース（約7.2km）

ちょっと歩いて七千歩コース（約5.6km）

定員：1,200人（先着）

■参考：第19回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和7年11月30日

【参加者数】1,008人

【コース】東海道コース（約7.4km）

横浜道コース（約6km）



ゴール会場（臨港パーク）
（令和7年度）

(4) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

【予算額 5,800千円(対前年度比 800千円増)】

西土木事務所管理の10公園には藤棚が設けられているなど、区内には町名にも使われている「藤」の木が多く、西区の地域資産となっています。公園内にある藤棚については、再生に向けた適切な維持管理は継続しつつ、ご家庭等でも育てられる鉢植え藤（一才藤）に関する管理講習会を開催することで、区民の方に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

また、西区では市街化の進展に伴い、区内に残された大規模な公園や緑地、身近にある公園という存在が、区民にとって緑を感じることでできる貴重な場となっています。花壇を有する区内の公園に対し、季節感のある花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことで地域のつながりを形成しつつ、「公園のまちヨコハマ」を推進し、GREEN×EXPO 2027の機運醸成を図ります。

(1) 藤の花再生・拡充の推進(2,500千円)【拡充】

① 公園藤棚の再生・維持管理

藤棚において、花を一面に咲かせるには適切な維持管理が必要で、中でもツルの誘引、花芽を意識した冬の剪定は開花に必要な重要な作業となります。土木事務所における日常的な藤棚の維持管理は継続しつつ、剪定等の藤の開花に重要な作業については、専門家による剪定の箇所数や回数を増やすなど、公園藤棚の再生を図っていきます。(通年)

② 専門家による鉢植え藤の管理講習会

より身近に藤を感じてもらえるよう、鉢植えでも生育が可能で、幼木のうちから開花する性質を持つ藤（一才藤）の普及啓発を図ります。

区民の方へ藤の魅力を伝えるため、藤の専門家による鉢植え藤の育て方・管理方法等について学ぶことができる講習会を開催します。(2月開催予定)

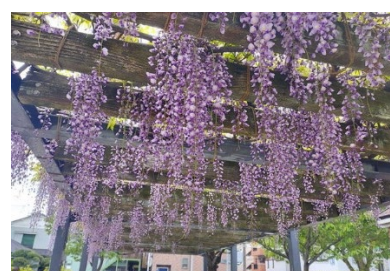
■参考：令和7年度講習会 2月19日開催

定員10名(応募：26名)

③ 藤に関連した取組の情報発信

「藤の花再生プロジェクト」の取組に絡め、公園藤を含めた区内の藤棚スポットのPRやその他の藤に関連した取組について、X(旧Twitter)やホームページ等を活用して随時情報発信を行います。(通年)

また、今春は浜松町公園の藤棚開花状況を定点観測し、WEB上に常時公開する取組を試行実施しました。



戸部公園藤棚 開花の様子



鉢植え藤（一才藤）管理講習会



浜松町公園藤棚 定点観測画像

(2) 公園・施設等の緑化推進(3,300千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

区内34公園において花苗や球根の提供を行いつつ、公園愛護会や地域の子どもたち等にも参加してもらう形で協働による花苗植えを行います。

また、季節の移り変わりを感じてもらえる花苗等の選定に加え、宿根草を組み合わせることで植替え時の手間や費用を抑える持続可能な取組としていきます。
(年2回、34公園) (春の花植え参加者数：308名)



境之谷公園での花苗植えの様子

安全・安心なまちづくり

ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

(地域振興課)

【予算額 4,499千円(前年度比 648千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、ごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を引き続き目指していきます。

新たな処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3 (ごみ) 計画」が策定され、脱炭素社会の実現に向け、令和7年4月からのプラスチックごみの分別ルール変更や使い捨てプラスチックの削減(リデュース)などに取り組み、身近な脱炭素への取組を各家庭で取り組んでいただけるよう、丁寧呼びかけていきます。

また、対面を中心とした環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、豊かな地球環境を次世代に残すため事業効果の最大化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO 2027開催に向け首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進し、美化・清掃活動を積極的に行います。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(1,165千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、3Rの推進に功労のあった個人又は団体にに対し表彰を実施しました。(6月22日)

■ R8年度表彰者 個人6名、団体2名



令和8年度 表彰式の様子

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広く関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時に環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

企業と協働して実施する店頭啓発では、環境問題を身近な事に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを開催します。(JR横浜タワー2階アトリウムにて実施予定)

■ R8年度店頭啓発実施予定回数 6回

(8月末:2回実施)



プラスチックフリー啓発物品の例

デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と区民の関心の高い防災を絡めることなどにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。

■参考 無印良品 NEWoMan YOKOHAMA店



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座の実施。

講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童のリサイクルに対する理解度を高めています。

分別ルールの変更なども取り入れ、子育て世代をターゲットに分別ルール変更の認知度向上にも取り組みます。(8月末：5回実施)

■R8実施予定回数 9回



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
(一本松小学校放課後キッズクラブ)

(2) 清潔で美しい街づくり推進事業 (3,334千円)【拡充】

① 地域清掃活動の支援

- ・自治会・町内会へ清掃用具の配布。(希望調書：4月、9月上旬配布)
- ・区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献清掃活動の支援。
- ・企業・団体等による清掃活動 (WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 8月末：90団体 3増)

の支援と、横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーンの他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。



横浜平沼高校生徒による清掃活動

② きれいな街づくりの推進

・地域・事業者・行政で立ち上げた検討会にて、地域課題の吸い上げや、ポイ捨ての多いエリア・時期に路面標示啓発や清掃委託を実施することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。(6月19日に令和8年度第1回を開催、第2回は10月開催予定)



「横浜駅をきれいに！」キャンペーン

・GREEN×EXPO 2027に向け、多くの来街者で賑わう横浜駅西口のきれいな街づくりの推進のため、スマートごみ箱設置事業者へ補助金を交付し、支援を行います。

※スマートごみ箱とは、IoT (Internet of Things) 技術を活用した次世代型ごみ箱のことです。



スマートごみ箱「SmaGO」

コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 13,035千円(対前年度比 7,250千円減)】

西区の「安全・安心なまちづくり」を進めるため、地域防災拠点への支援や関係機関と連携した区本部の防災訓練等を通じて、防災機能を強化します。

また、防災講話やイベント開催のほか、避難所案内板の設置や西区防災マップの更新等を通じて区民への啓発を進め、自助・共助の推進を図ります。

(1) 地域防災拠点の機能強化(850千円)

円滑な避難所運営及び多様な避難者対応への支援

発災時に地域防災拠点(以下、「拠点」)を円滑に運営できるよう、運営委員及び地域住民に対し、拠点訓練を通じて運営方法の理解を深め、体制の強化に努めます(実施回数：各拠点1～2回/年、実施時期：通年)。

また、拠点運営を支障なく行えるよう、資機材や備蓄品の適正な維持管理に努めます。

さらに、拠点において多様なニーズ(妊産婦・乳幼児、高齢者、障害者、外国人等)に対応できるように関係各課や団体等と連携した支援を行います。



老松中学校地域防災拠点訓練
(令和7年度)

(2) 区本部の防災機能強化(6,589千円)

① 震災・風水害対策の強化

災害シミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部機能を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携した災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。さらに帰宅困難者対策として帰宅困難者一時滞在施設と連携した訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練(5月15日実施 参加15人)
- ・震災対策訓練 (12月実施予定)
- ・ボランティアセンター設置訓練(11月実施予定)
- ・帰宅困難者受け入れ訓練(調整中)



震災対策本部訓練
(令和7年度)

② 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局等との通信訓練(隔月)やのぼり旗掲出訓練(年3回)、医療救護隊検討会(7月14日開催)及び医療救護隊巡回訓練(11月15日実施予定)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害時における医療体制について区民向けの啓発を進めるほか、携帯電話等災害時の通信手段の確保に取り組むとともに、災害医療連絡会議(3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(5,596千円)【拡充】

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(6月28日・29日実施)



崖地相談会の様子(令和8年度)

■参考：令和8年度実績

参加者：6月28日(6組)、29日(6組) 計12組

アンケート結果：大変参考になった11組・参考になった1組

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカーの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び延焼火災対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や、防災講話、イベントの機会を活用し、防災・危機管理統括本部等の関連部署と連携した啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年度実績

【感震ブレーカー補助実績】

- ・令和5年度：15個(2団体)
- ・令和6年度：174個(4団体)
- ・令和7年度：116個(4団体)

【初期消火器具更新実績】

- ・令和5年度：2基(2団体)
- ・令和6年度：1基(1団体)
- ・令和7年度：1基(1団体)

③ 区民への防災・減災の普及啓発

新たな防災気象情報の運用開始等に伴い、西区防災マップの更新を行います。

また、地域住民への避難所種別や開設基準などの周知啓発を目的に、避難所の開設基準や開設状況を掲載した避難所案内板を小中学校(区内13校)に設置します。

さらに、消防、警察や企業等と連携した防災イベントの実施(10月)、赤ちゃん教室での防災講話(年9回)、子育て世帯への防災啓発グッズの配布(参考：令和8年7月末時点：264個)、広報よこはま西区版で、新たな防災気象情報等の防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、幅広い世代に防災啓発を実施します。



防災イベントの様子(令和7年度)



子育て世帯への防災啓発グッズ(令和8年度)

サ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 4,611千円(前年度比 1,116千円増)】

交通安全と防犯を一体的に推進し、地域と区役所、警察署や関係団体と連携してだれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます。啓発活動は交通安全と防犯で連携して実施することで効率的に強化するとともに、防犯の視点では、より多くの方が参加できるよう見守り活動を新たに推進します。

(1) 防犯意識啓発活動事業(1,600千円)【拡充】

① 防犯情報提供及び意識啓発【拡充】

子育て世代、単身高齢世帯ごとの特性に応じた犯罪被害事例や対処法などを情報発信し、区民の防犯意識を高めます。既存の広報に加え、区役所の強みを生かしたチャンネル（乳幼児健診やふれあい会等）での情報発信を新たに実施することで、広報・啓発を強化します。

■参考：令和7年度実績

- ①広報よこはま西区版（5・7・1月号）
 - ②タウンニュース（12月25日号）
 - ③市営バス内デジタルサイネージ（2～3月予定）
- 【掲出場所】浅間町営業所、滝頭営業所（各30台）

② 地域のつながりづくり促進【新規】

区民が愛犬との散歩時に、防犯パトロールの視点を持って地域を見守る”ボランティア活動「西区トコパト（トコトコパトロール）」を7月から募集開始しました（8月末時点登録者数101名）。今後はSNS等を通して事業周知と参加者増を図ることで、地域の安心感を醸成します。

(2) 交通安全推進事業(2,027千円)

交通ルールの周知や交通安全意識の向上を図るため、戸部警察署、戸部交通安全協会等と連携し、各季の交通安全運動のキャンペーンを実施します。基本的な交通ルールは継続して啓発するとともに、道路交通法改正など交通ルールの変更については積極的に情報発信を行います。

また、西区交通安全対策協議会功労者表彰を実施し、交通安全運動の推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します（3月予定）。



▲横浜駅でのキャンペーンの様子

■参考：キャンペーン 令和8年度実績（予定含む）

- ①新都市プラザ（4・9・12月）
- ②サミットストア横浜岡野店（6・7・9・12・2月）
- ③区役所前（4・9月）
- ④TVKハウジングプラザ横浜（10月）

■参考：広報 令和8年度実績（予定含む）

- ①広報よこはま西区版（4・8月号）
 - ②タウンニュース（2月号予定）
 - ③市営バス内デジタルサイネージ（2～3月予定）
- 【掲出場所】浅間町営業所、滝頭営業所（各30台）

■参考：児童向け交通安全教室 令和8年度実績（予定含む）

- ①区内及び近隣小学校（全10校）
- ②親子交通安全教室（9月）



▲自転車の違反へ反則金制度導入のチラシ

(3) スクールゾーン対策事業(984千円)

区内及び近隣小学校（全10校）のスクールゾーン対策協議会へ、スクールゾーン対策協議会活動助成金を交付し、支援を行います（通年）。

また、スクールゾーン対策協議会からの要望に基づき（4～7月）、「スクールゾーン」路面標示等の設置・維持管理を行います（10～3月）。

令和9年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

1 予算編成の基本方針

令和9年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「**横浜市中期計画2026-2029**」の2年目です。市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら「**つながりを大切に 誰もが にこやか しあわせに くらせるまち西区**」に向けて取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現に向けて各事業を展開します。

また、令和9年度は、「**にこまちプラン**」の**第5期計画**（令和8～12年度）の2年目でもあり、**区民アンケート**を行い、その結果内容を計画にフィードバックさせ、計画を着実に推進します。まちの将来像を示す、おおむね20年後の西区の将来を見据えた中長期にわたる方向性についてまとめる**都市計画マスタープラン西区プラン**の令和10年度の改定に向け、いただいた意見を参考に素案の策定を進めていきます。

屋外の公共の場所（路上等）における喫煙を市内全域で禁止する「**横浜市屋外の公共の場所における喫煙の防止等並びに空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例**」が令和9年1月に改正施行されます。横浜の玄関口となる**横浜駅とその周辺**の**美化・環境向上**に引き続き公民連携で取り組みます。そして、気候変動という地球規模の課題解決に向けた姿を世界に発信する**GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）**がいよいよ令和9年3月に開幕を迎えます。区民の皆さまと盛り上げるとともに、脱炭素のための持続可能で環境に配慮したライフスタイルへの転換などSDGsの啓発を行い、閉幕後もその流れを継続していきます。

これらの目標の実現に向けた主な取組として、自然災害に備えた**防災・減災の取組**や、地域と連携した安心・安全な街づくりを目指した**防犯対策**、誰もが安心して暮らせる地域・誰もが自分らしさを生かして活躍する社会参加を促進する地域づくり、**インクルーシブな社会の実現**などに取り組みます。また、自治会町内会をはじめとする地域のあらゆる担い手の連携促進により持続可能な地域づくりに向けた「**地域連携**」の**充実**を目指すとともに、地域でのD Xの取組を支援していきます。**こどもから高齢者まであらゆる世代の健康づくり**、妊娠期から学齢期にかけて**切れ目のない子育て支援**を行います。

予算編成にあたっては、業務効率化を進めながら、「創造・転換」を理念とする歳出改革等に取り組み、こどもから大人まで幅広い層の意見を参考にしていくとともに、実施にあたっては、区民の皆さまが各事業の効果を最大限実感できるよう、取り組んでいきます。

2 重点項目

(1) 地域のつながりづくり

西区の総合的な計画である西区地域福祉保健計画（にこまちプラン）の第5期計画を推進し、地域主体の取組、課題解決の場づくりや新たな担い手づくりを支援します。また、地域包括ケアシステムの構築に向けた「**西区アクションプラン**」次期プランの令和9年度からの推進に取り組みます。地域や活動者の声に寄り添い、区内の大学・企業・団体と連携し、地域課題を解決していきます。

(2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、こどもたちを健やかに育む子育て支援、高齢者が自分らしく暮らし続けられる取組のサポート、障害のある人も住みやすい環境づくり、健康づくり啓発や健康情報の発信などを進め、インクルーシブな社会の実現に取り組みます。

(3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

横浜グリーンエキスポを契機として、脱炭素やSDGsなどの関連する取組をさらに推進し、環境との共生の意識醸成や具体的な環境行動につなげていきます。また、地域・企業の皆さまによって連綿と培われてきた「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を生かした伝統的な催事を、地域・企業の皆さまと協働で実施し、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。また、都市計画マスタープラン西区プランの改定に向けた検討を行います。

(4) 安心・安全なまちづくり

横浜駅やみなとみらい地区等の大規模施設、地震火災による延焼危険性の高い密集市街地、土砂災害特別警戒区域等を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策、要援護者対応に係る自助・共助の取組の支援、地域と連携した防犯・交通安全対策、企業等との協働による脱炭素化、横浜駅周辺の美化などに力を入れて取り組みます。

(5) 親しみやすい区役所づくり

区民一人ひとりの立場に立ったきめ細かな窓口サービスと、親身に寄り添う支援を継続的に提供できる持続可能な区役所の実現を目指します。デジタル技術の活用による手続きの負担軽減や、区庁舎及び区民利用施設の環境改善を進めることで、区民の利便性・快適性の向上を図ります。あわせて、業務プロセスの見直しや働き方改革を推進し、市民サービスの向上と職員が意欲を持って働ける行政運営を実現するとともに、持続可能な区役所を目指します。

3 予算編成の進め方

- (1) 事業の検討にあたっては、日々寄せられる広聴やデジタルプラットフォーム、各事業実施時のアンケートなど様々な機会を通じていただいた区民の皆さまのご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。
- (2) 地域の新たなニーズや課題に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、「市民目線」からの必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。
- (3) 市全体の施策推進・予算編成・組織運営の重点方針に即して予算編成を進めます。また、「チーム西区役所」としての総合力を発揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。

【参考】西区における開発動向等

地図	概 要
①	横浜駅周辺浸水対策 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(約60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(82mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。 令和5年12月着手した雨水幹線のシールド工事は、神奈川区の神奈川公園から岡野公園に向けてシールドマシンが掘削中です。 また、楠ポンプ場と岡野公園を結ぶ楠支線について令和8年度の工事契約に向け手続きを進めています。工事に伴い、横浜駅西口第11自転車駐輪場及び新田間川緑地を施工ヤードとして使用する予定です。引き続き工事を進め、供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。 また、新たに整備する雨水幹線に横浜駅周辺の約140ヘクタールに降った雨を取り込むため、地域の雨水を排水している下水道管の増強などの工事を実施しています。令和8年度は、南幸二丁目及び楠町、浅間町二丁目で工事を実施中です。
②	東急東横線廃線跡地 桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、令和元年7月に供用開始しています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 8年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、魅力ある歩行者空間を目指し路線の基本計画の見直しを進めています。
③	野毛山動物園の再整備 野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行い、令和7年4月に供用開始しました。 引き続き、リニューアルプランに基づき、バリアフリーへの対応、老朽化対策、動物の飼育環境の改善など、更なる魅力向上に向けて取り組みます。(令和11年度リニューアルオープン予定)
④	中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備 中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。 「おやこフロア」を令和7年4月にオープンしました。また、「こどもフロア」の整備を進め、令和9年春にオープン予定です。
⑤	多機能型拠点整備(旧青少年交流センター跡地) 西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、令和7年9月から整備運営法人の公募・選定を行いました。12月に法人が確定し、令和8年度から設計に着手しています。(令和10年度開所予定)
⑥	野毛山公園プール跡地公園整備(土地面積 約6,200㎡) プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。

西区開発動向分布図



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口
中央西口駅前広場については、令和7年からタクシーと一般車の交錯を解消し、歩道舗装の更新等を行う工事に着手しました。令和7年5月には、「ヨコハマニグチOPEN PARK」を開催し、芝生やベンチにより憩いと賑わいの空間を創出しました。横浜グリーンエクスポ開催に向けた駅前広場の完成を目指し、開催時に多くの来街者をお迎えする空間を創出します。

きた西口駅前広場については、令和7年度に高欄整備と植栽工事が完了しました。今後は舗装等の工事を進め、横浜クリーンエクスポ開催に向けた駅前広場の完成を目指します。

また、**みなみ西口のバルナード通り**にて、令和8年5月に賑わい創出イベントと連携した車両交通転換の社会実験を行いました。今後も、ウォーカブルな空間創出に向けて取り組みを進めています。

横浜駅東口
横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス地区の東側エリア）について、日本郵政不動産、JR東日本、京急電鉄を事業協力者として、令和6年に再開発準備組合が設立され、組合において早期事業化に向けて、事業計画などの検討を進めています。現在、環境アセスメント方法書の手続きを進めており、事業者による説明会や審査会での審議を進めています。また、**出島地区**について、権利者などによる東口臨海地区連絡協議会を令和6年に再開し、中長期の視点での将来像の検討を進めています。関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市が中心となり検討を行っています。

令和7年11月から3か月間に渡り、東口駅前から水際線へとつながる重要な結節点である**はまテラス**において、「にぎわい創出プロジェクト」を実施し、芝生や光るファニチャ等により賑わいの空間を創出しました。

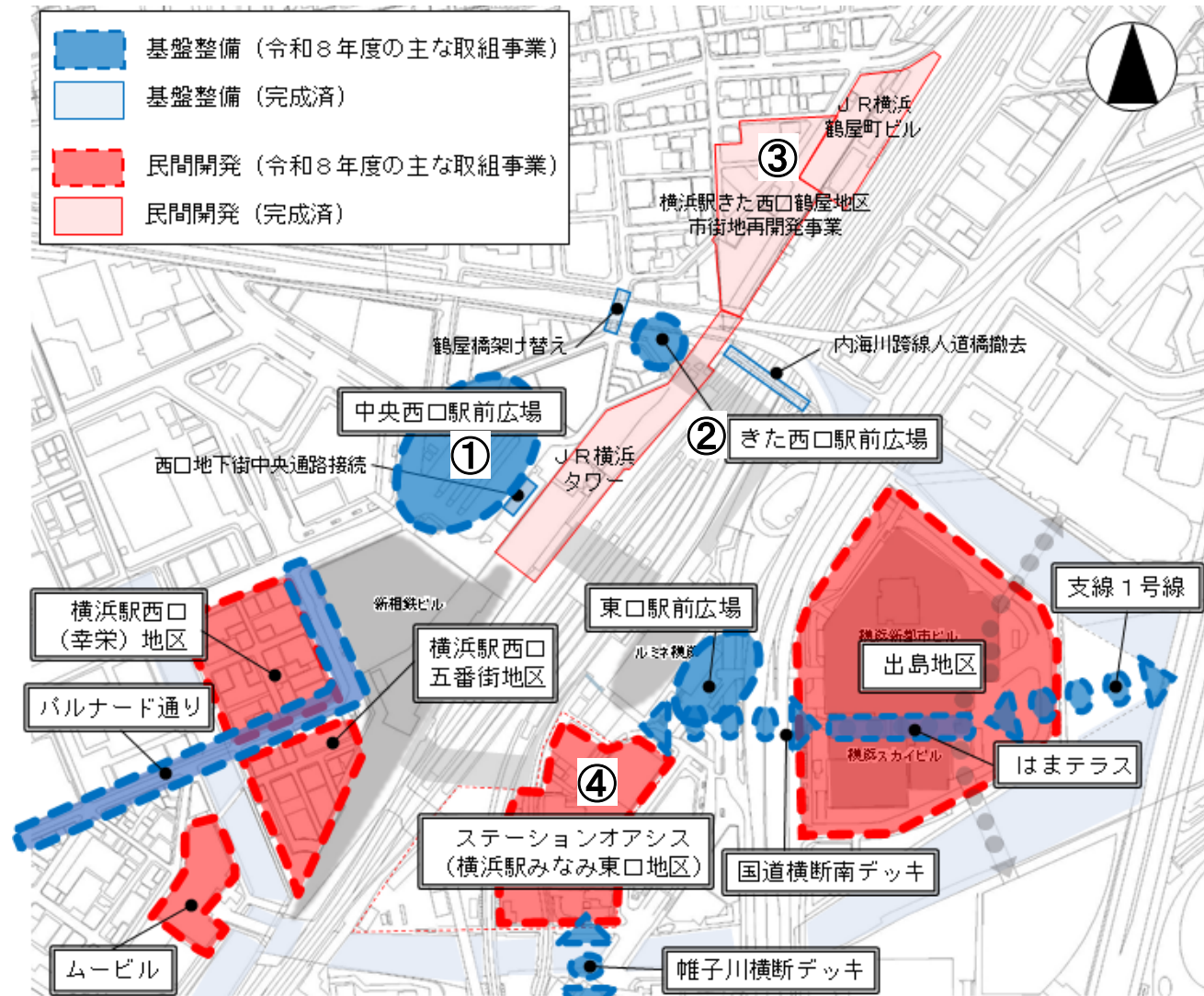
水際線への玄関口となる**東口駅前広場**について、来街者が集い憩える空間への再編の検討を進めています。

【進行中の事業】

①	中央西口駅前広場 令和元（2019）年7月 工事着手 令和5（2023）年1月 屋根完成 令和6（2024）年11月 車道舗装工事着手 令和7（2025）年6月 歩道舗装工事着手	
②	きた西口駅前広場 令和元（2019）年7月 工事着手 令和6（2024）年9月 屋根完成 令和7（2025）年11月 高欄完成 12月 植栽完成	
③	横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル） 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着工 令和5（2023）年度 再開発建物竣工 令和6（2024）年度 交通広場供用開始 令和7（2025）年度 事業完了	事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
④	横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス） 階数・高さ（予定）：地上45階/地下3階、約231m 用途（予定）：オフィス、商業、ホテル等 令和6（2024）年6月 市街地再開発準備組合設立 令和7（2025）年4月 環境アセスメント手続開始 令和10（2028）年度 工事着工（予定） 令和19（2037）年度 竣工（予定）	事業者：横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合

【その他の事業】

令和元（2019）年12月 西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通
令和2（2020）年3月 JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工



▲令和7年5月 ヨコハマニグチ OPEN PARK



▲令和7年11月～8年2月 はまテラス 賑わい創出プロジェクト



▲令和8年5月 西口バルナード通り



▲東口駅前広場再編イメージパース

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

■建設中			
赤①	19の一部：臨港パークの整備 【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約9.8ha 施設：砂浜、親水護岸、藻場・浅場 歩行者デッキ 園路、休憩設備、照明等 スケジュール： 令和5（2023）年度 先端部工事着手 令和9（2027）年度 臨港パークとパシフィコ横浜を接続する歩行者デッキ供用予定 令和11年（2029）年度 竣工予定	赤②	52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画 事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗等、道路横断デッキ スケジュール：令和6（2024）年2月 着工 令和9（2027）年5月竣工予定
赤③	60・61：MM60・61プロジェクト 事業主体：MM60・61特定目的会社※、学校法人岩崎学園 ※(株)ケン・コーポレーション、SMFLみなとみらいパートナーズ(株)、鹿島建設(株)で構成 規模等/高さ：（東区画）地上26階、地下1階/約100m （西区画）地上13階、地下1階/約60m 敷地面積：約23,000㎡ 延床面積：（東区画）約131,000㎡ （西区画）約25,000㎡ 施設：（東区画）オフィス、ホテル、ミュージアム、商業施設 （西区画）専門学校 スケジュール：令和8（2026）年1月着工 令和10（2028）年7月竣工予定（西区画）、令和11（2029）年2月竣工予定（東区画）		
■計画		■竣工	
青①	62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT 事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティアセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下1階/約60m 敷地/延床面積：約22,000㎡/約88,500㎡ 施設：ホテル&ホテルコンドミニアム、デジタル水族館、ミュージアム、店舗等、道路横断デッキ スケジュール：令和7（2025）年7月準備工事着手 令和10（2028）年9月竣工予定	緑①	60・61の一部-みなとみらい大通り：高島水際線デッキ整備 事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 スケジュール：令和3（2021）年10月着工 令和7（2025）年3月暫定開通 令和8（2026）年度竣工予定

